

付録T-1: 幼稚園・小中高等学校用 (TK-12) 新型コロナウイルス感染防止プロトコル

注: 本文書は頻繁に更新されます。最新版はウェブページの日付をご確認ください。

最新の更新 (変更箇所は黄色で強調表示されています。)

2022年10月4日

更新されたロサンゼルス郡公衆衛生局、衛生担当官命令に沿って、屋内でのマスクの着用に関する事項が改定されました。教育機関におけるマスクの着用は例外を除き、個人の選択に委ねるとされました。例外にあたるのは、新型コロナウイルス感染症と確定診断され10日間の隔離期間を終了せずに学校へ戻った方、および新型コロナウイルス感染症と確認された患者と10日以内に濃厚接触をした方です。そのような方たちは周りに人がいる場合、マスクの着用が義務付けられています。また、新型コロナウイルス感染症で重症化しやすい方たちには、人混みや換気の悪い屋内において、感染防止の効果の高いマスクの着用が強く推奨されています。

- 周囲に誰もおらず、職員が一人で仕事をしている場合を除き、学校の保健室ではすべての人にマスクの着用が推奨されています。

2022年9月15日

- 学校に勤務する方たちのワクチン接種証明に関する州衛生担当官命令の言及が取り消されました。2022年9月17日より、命令が解除されます。
- ワクチン接種状況に関わらず、従業員の自主的なレスピレーター（高性能医療マスク）の使用の要求に応じ、雇用主がそれを提供する義務について、カリフォルニア州米国労働安全衛生局の緊急臨時基準（Cal/OSHA ETS）を明確にしました。

ロサンゼルス郡公衆衛生局(DPH)はトランジショナル・キンダーガーテン (TK) から12年生を教育する学校のために、科学と公衆衛生学の専門知識に基づいた段階的なアプローチに取り組んでいます。州公衆衛生担当官およびカリフォルニア州教育省によって学校に課せられた条件に加え、学校は本書のプロトコルに含まれる全ての要件に準拠しなければなりません。

注: 本ドキュメントは、最新情報やリソースが入り次第更新されます。

[LAC | DPH | TK-12 Education Toolkit](#) までアクセスし、最新情報をお確かめください。

本ドキュメントはロサンゼルス郡(LAC)におけるキャンパス内の指導に関する現行の規定についての検討項目から始まり、その次に学校環境に特化した安全保障対策の情報を提供します。

このTK-12プロトコルは次の5つの分野での安全措置を提供します:

- (1) 職場における職員と生徒を保護するために必要な方針と取り組み
- (2) 換気の改善と混雑緩和のための措置
- (3) 感染症対策を最適化するための措置
- (4) 職員、生徒、その家族と一般市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

最初の項目では必要な方針と実践がまとめられています。他の4つの項目では、全ての職員、生徒、訪問者への安全性を高めるための計画を策定する際に、学校が実施することができる様々な対策が記載されています。全学校でいくつかの予防策や保護策が必要とされていますが、ほとんどの措置は任意であり、自由意志によるものです。それでもなお、学校がキャンパス内でのリスクの軽減や、症例および感染を抑えるために複数の新型コロナウイルス感染リスク軽減対策を実行することが適切です。[付録T2：幼稚園・小中高等学校（K-12）における感染管理計画](#)で説明されている追加予防策も必要であり、その場にいる全ての人に適用されます。幼稚園・小中高等学校用のその他の情報は、[K-12用新型コロナウイルスツールキット](#)をご覧ください。

全学校においての一般的な再開ガイダンス

現在、TKから12年生までの生徒に対し、全学校の再開が許可されています。

校内にある保育プログラムに関する注意事項：地域の教育機関 (LEAs) や学校のキャンパス内で子供デイケアサービスを提供する学校は公衆衛生局の[就学前教育機関におけるガイダンス](#)をご参照ください。

新型コロナウイルスワクチン接種は一次予防です。

貴校のワクチン接種率を上げることが、校内での感染・伝播リスクを下げるための最初に行うべき最善の手段であり、ワクチン接種完了者の重症化、入院および死亡リスクを大幅に低減し、ワクチン接種を完了することができない方、免疫不全症の方、もしくは基礎疾患のある方が一層守られることにつながります。そのため、本プロトコルに記載の全推奨事項と全要件に加え、新型コロナウイルスワクチン接種やブースター接種の正常化、促進、容易化する戦略を、対象となる校内全職員および全生徒のために取り組むことを要請します。校内でワクチンクリニックを開催するための最善実施方法を含む、段階的ガイド、[ロサンゼルス郡公衆衛生局の学校用ワクチン会場ツールキット](#)をご覧ください。また、州は2021年10月1日に、学年（7～12年生および K～6年生）に応じたワクチン接種をFDAが完全承認した後にその学期から、対面式授業に出席するにあたり、生徒の新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種を義務付ける方針を発表しました。しかし、この要件は2022～2023年の学年度での開始が延期され、一番早くても2023年の7月に施行される予定です。FDAは12～15歳の方を対象にPfizer Comirnatyのワクチンを完全承認したので、7～12年生までの生徒に対する新型コロナウイルスワクチン接種の義務化を州が2023年7月から開始することができます。

TK～12年生用 新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

機関名:

住所:

注: 「職員」及び「スタッフ」という用語は、本プロトコルで、教育、コーチング、生徒サポート、各生徒へのセラピーまたは個人的援助の提供、施設の清掃またはメンテナンス、管理、または学校が機能するために必要なその他の活動に関連するあらゆる面に於ける学校施設で働く個人を指すために使用される。「職員」または「スタッフ」には、関連する学校システムによって直接賃金を支払われている個人、学校の請負業者として機能している企業、団体、機関などのエンティティ、生徒にサービスを提供するために学校と協力して行動している外部のエンティティ、または個々の生徒サービスを提供するために第三者により賃金を支払われている個人や、学校の指示の下に必要な機能を実行するために活動する無給のボランティアが含まれる場合もある。本プロトコルでは、「保護者」という用語は、生徒の扶養者または親権者としての役割を果たす人を指すために使用される。

職場におけるスタッフ（職員）と生徒を守るための必要な方針と実践 (該当するものを全て選択)

- A. 学校は、キャンパスでの新型コロナウイルス感染症の蔓延を防止及び抑制するための包括的なアプローチについて新型コロナウイルスを封じ込め、対応及び管理計画を立てなければならない。その計画には以下の要素が含まれるが、これらに限定されるものではない。**
- **新型コロナウイルス感染症に関するすべての安全手順を確立して実施し、スタッフと学生がCOVID-19に関する教育を受けることの責任を負う、指定されたCOVID-19コンプライアンスチーム。このチームのメンバー1名をキャンパスで発生した場合の公衆衛生局への連絡担当者に指名する。**
 - **学校コミュニティのメンバー（教職員、学生、訪問者）の誰かが新型コロナウイルス検査で陽性であったことを学校関係者に通知した直後に実行される処置のプロトコル。**
 - 現場での症例発生の通知があった場合、該当者を学校のコミュニティから即座に離れさせ、自宅で自主隔離させる。計画は、該当者が帰宅するために手配が必要な場合、現場にてその個人を一時的に隔離する必要がある。
 - 自主隔離に関する規制と詳細情報を含むサイトへのリンクを含むファクトシートまたはその他の情報資料を該当者（感染者が子供である場合は適切な家族）に提供する。
 - **以下の手順を概説する公衆衛生局のガイダンスと一致する付録T2: 幼稚園・小中高等学校用感染管理計画を開始するためのプロトコル:**
 - 感染者の隔離
 - 学校で感染者と濃厚接触した人の特定
 - **さらなるウイルス感染リスクを軽減させるための感染者と接触のあった職員および/または学生への対応。**
 - ワクチン接種の有無に関わらず学校内であった感染者と接触のあった生徒や職員に対する検査へのアクセスの保証。
 - **2022年8月1日施行の新症例報告ガイダンスへの対応。**学校は発症日前の14日間のいずれかの時点で校内にいた、教室、オフィス、あらかじめ決められた、または特定できるグループ（チームメート、クラブメンバー、コホートなど）において、3件以上の症例のクラスターを報告することが義務付けられている。発症日は、新型コロナウイルス感染症の症状が最初に現れた日、または検査日のいずれか早い方とする。クラスターの通知は学校側が通知を受けたら直ちに、1営業日以内に公衆衛生局にhttps://spot.cdph.ca.gov/s/?language=en_USから送信および、「TK-12学校

機関新型コロナウイルス感染症例報告コールセンター」に電話で通知しなければならない。クラスターを通知に関する質問やサポートは「TK-12学校機関新型コロナウイルス感染症例報告コールセンター」に電話入れ、公衆衛生局に連絡するか、acdc-education@ph.lacounty.govまでメールを送る。公衆衛生局は学校と協力し、クラスターが公衆衛生の集団発生時の対応を必要としているかを判断する。

- 学校または地域での集団発生に基づいた、対面式による学校運営を完全または部分的に閉鎖する必要がある場合の緊急時対応計画。新型コロナウイルスの集団感染の可能性により、完全または部分的に閉鎖する必要がある場合に備え、学校はコミュニケーション計画を作成し、その配布をしている。
 - 新型コロナウイルス感染症に対応する検査を提供するためのプロトコル。少なくともこのプロトコルではワクチン接種の有無に関わらず、有症状の生徒や職員、またはSARS-CoV-2感染者との接触が判明している、もしくは疑われる生徒や職員の検査のアクセスを確保するための戦略を説明している必要がある。現行のCal/OSHA（カリフォルニア州労働安全衛生庁）による新型コロナウイルス感染予防緊急暫定基準([Cal/OSHA ETS](#))では雇用主が次のような勤務中の職員に無料で検査を提供することを必須としていることに注意：
 - 既知の暴露の有無に関わらず、症状のある職員。
 - 過去90日以内にSARS-CoV-2に感染していた濃厚接触者の職員を除く、感染者と濃厚接触した全職員。
 - ワクチン接種の有無に関わらず、集団感染に巻き込まれた全職員に検査の提供がされなければならない。
- 新型コロナウイルス感染症の症状がある場合は学校施設への入場が許可されていないことを訪問者に示す標識が校内の各入り口に立ててあること。

B. 学校における雇用主と雇用者の義務

- 新型コロナウイルス感染者と濃厚接触した、またはそれが疑われる雇用者は[付録 T2: 幼稚園・小中高等学校用感染管理計画](#)に詳しく説明がしてある暴露後のガイダンスに従わなくてはならない。
- [Cal/OSHA ETS](#)により、雇用主は新型コロナ感染症の症状が見られる雇用者を職場から立ち退かせる必要がある。Cal/OSHA（カリフォルニア州労働安全衛生庁）は雇用者のスクリーニングの特定の方法を規定していないが、推奨されるいくつかの方法を実施することで、この必須事項の遵守に役立つ。
- 屋内で働き、他の職員、生徒、一般人と接触する、または他の人と車を共有する職員たちが任意で着用できるように、しっかりフィットする医療マスクや、N95、KN95、KF94などのレスピレーター（医療高性能マスク）を雇用主が無料で提供する必要がある。ワクチン接種の有無に関わらず、雇用主は要求に応じて屋内で働いている、または他の人と車を共有する職員にマスクの適切なフィットの確認方法とともに、高性能マスクを提供することをCal/OSHAもまた、義務化していることに留意する。
- マスクの着用が危険である場合を除き、雇用主は活動への参加や、学校施設内に入る場合にマスクの着用を誰も拒否されることがないことを保証しなければならない。
- 個別の生徒に対し理学療法や個人的な援助の活動に従事する職員は適切な個人用防護具（手袋、マスク、ガウンなど）を着用しなければならない。_____

C. マスク着用の要求の実施

ロサンゼルス郡における全ての学校は、マスク着用を義務付ける衛生担当官の命令を遵守し、その要件を職員、訪問者、保護者、生徒に伝える計画を立てることが必要とされている。

□ **マスク免除の方針:** 衛生担当官命令により、学校を含む屋内の公共施設でユニバーサルマスクング（症状や感染の有無に関係なく、人との距離が取れない場合はマスクを常時着用するという感染予防策）が求められる場合、個別教育計画または504計画に基づいている生徒でマスクに耐えられない生徒、または教育上の理由、生徒の安全、既存の障害のためにマスクの着用が困難な状況に対応するために、別の感染予防対策を採用することができる。以下の場合にはマスクの着用が免除される。

- 2歳未満の乳幼児
- 聴覚に障害のある場合、または聴覚に障害のある人とコミュニケーションを取る場合に口元を見ることが不可欠な場合。
- 基礎疾患、精神病、障害のある場合、または医療従事者からマスクの着用は安全ではないと判断された場合は学校に免除を申し立てることができる。国家資格を有する医療従事者による、マスクの安全な着用が不可能な状態や障害を証明する書類があれば、免除の証明として認められる。以下の免許を持つ医療専門家は上記の証明書を提供することができる。医師(MD または DO)、看護師(NP)、医師助手(PA)など、医師の免許を持つ人のもとで診療を行う医療従事者、臨床ソーシャルワーカー(LCSW)、臨床心理士(Psy.D.)、専門臨床カウンセラー(LPCC)、結婚・家族療法士(LMFT)など、精神や行動保健学の免許取得者。

衛生担当官命令により、屋内でのユニバーサルマスクング、または特定の個人に対してマスクの着用が必要とされる場合があるが、マスク着用が免除される生徒は、体調が許す限り、下部にドレープのついたフェイスシールドをつけること。学校は、マスク着用が必要だが有効な免除が降りている人とのインタラクティブなプロセスを設けるべきであり、そのような生徒を預かる場合には代替の感染予防対策の実施を選択できる。検討すべき代替策には次のようなものがある：マスクをしていない生徒の定期的な（例：週一回など）スクリーニング検査、マスクをしていない生徒がいる室内空間の換気改善策、マスクをしていない生徒を解放されて窓、換気扇、HVAC吸気口、や自立型空気清浄機の近くに座らせる、マスクをしていない生徒と屋内空間を共有する生徒や職員に高性能マスク（N95、KN95、KF94）を提供する。

- 濃厚接触者のマスク着用免除: 屋内においてのユニバーサルマスクングに関わらず、ロサンゼルス郡の全面的な自宅待機命令では、無症状である症例の濃厚接触者が屋内で他の人の周りにいる場合に保護機能の高いマスクを最終暴露日から10日間着用すること、および最終暴露日から3~5日間以内に少なくとも一度、検査を受けることを自宅で待機する代わりに要求されている。マスクの着用が正式に免除されている濃厚接触者と特定された生徒が学校に留まることを希望する場合は、無症状のままであること、最終暴露日から10日間、自身の健康状態を観察すること、最終暴露日から3~5日以内に少なくとも一度、6~9日以内に一度、新型コロナウイルス検査で陰性と診断されなければならない。この条件を満たせない場合や暴露後にマスクの着用ができない場合は最終暴露日から10日間、自宅待機しなければならない。さらに、学校で集団感染が発生した場合、ロサンゼルス郡公衆衛生局の調査員が本プロトコルとは異なる臨時対策を実施することもあり、その指示に従わなければならない。例えば、マスクの着用ができない生徒たちは集団感染の発生している間は本人たちやキャンパスの全体の安全のために自宅で待機するよう指示される場合もある。
- マスクが着用できない職員はCal/OSHA ETSの職場復帰に関する要件を参照すること。

D. プロトコルのコミュニケーション

- 本プロトコルのコピーは全職員に配布されている。
- 本プロトコルのコピーは学校のオフィスに掲示されており、学校または学区のウェブサイトにも一般向けページにもアップロードされている。

換気の改善および職員、学生、訪問者の混雑を緩和するための対策 (該当するものを全て選択)

- 校内の最適な換気を促進するための対策を講じることが強く推奨されている。これに発議の事項が含まれる (該当するものを全て選択) :
 - 教室での学習、食事、活動を天候や時間の許す限り野外スペースに移動させる。 _____
 - 学校のHVACシステムは正常に機能している。HVACシステムは、米国暖房冷房空調学会 (ASHRAE)によって設定された学校再開のガイダンスに精通した適切な技術者によって評価されることを検討する。 _____
 - HVACシステムは屋外環境が不適切 (最近の火災、非常に高い外気温、花粉飛散量が多いなど) でない限り、屋内と屋外の空気の入れ替えを最大化するように設定する。 _____
 - 可能な場合は効率に優れたポータブル空気洗浄機を設置する。 _____
 - ドアや窓は学校が開いている時間帯に屋外の状況により適切であれば可能な限り開放する。防火扉の閉鎖を義務付けている現行の消防法を遵守すること。 _____
 - エアフィルターは効率の高いものにアップグレードされている (MERV-13かそれ以上のものが推奨されている)。 _____
 - 体育館は収容人数が多く、高リスクの活動がコートで行われるため、換気を改善することは、高リスクの競技により発生するウイルス感染や集団感染のリスクを下げるための重要な戦略である。フロアレベルでの換気を改善するための扇風機の使用は、このリスクを軽減する上で大きな効果をもたらす場合がある。 詳細なガイダンスについては、[体育館における換気の最善対応方法](#)を参照のこと。 _____
 - その他:
 - [CDCのインタラクティブツール](#)やCDPHのガイダンスを含む学校における大気質改善に関する詳細は[LACDPH TK-12学校機関 COVID-19 ツールキット](#)を参照のこと。
- スクールバスでの生徒の物理的距離を施すための措置を行うことを検討する。その措置には次を含む (該当するものを全て選択) :
 - バスの1座席につき子供1名の着席。 _____
 - 交互に列を使用する。 _____
 - 大気質と乗客の安全上の心配がない場合は窓を開ける。 _____
- 生徒、保護者、または訪問者が到着し校内に入り、校内を移動する際に、人混みを避ける対策を実行することを検討する。これには以下が含まれる (該当するものすべてを選択) :
 - 学校職員を廊下に配置して、登校してきた生徒が物理的距離の確保と、大人数で集まったりうろついたりしない様注意を促し、教室へ向かうようにさせる。 _____
- 教室内で必須の運営に影響を及ぼさない限り、推奨されている物理的距離を可能にする対策を実施することを検討する。これらには以下の方法が含まれる (該当するものすべてを選択) :

- 教室内の家具は、生徒間と、生徒と教師間の距離を最大に保てるように設置する。最善方法として、「ポッド」形式で教室内で席を設置することは避ける。距離を取ることが不可能な場合は、換気を改善する方法を含むその他の安全保護策を検討する。
 - 教室内の昼寝または休憩場所では、生徒間の間隔を広げ、足と頭が交互になるようにして休ませる。
 - その他: _____
- 体育の授業はできるだけ屋外で行うことを検討する。
- 学校の方針は、ロッカールームでの物理的距離を促すものを実行することを検討する。方針には以下が含まれる。:
- ロッカールームへの出入りをずらす。学生と学生選手がロッカールームで過ごす時間を制限することを検討する。例えば、学生選手が練習や試合の後に自宅でシャワーを浴びることを提案する。
 - 学生服、本、その他のアイテムを保管するための代替方法を考案する。
- 生徒がマスクを着用しない学校での食事中に物理的距離を増加するための対策を検討する。これらには以下が含まれる（該当するものすべてを選択）:
- 食事を取るために並ぶ場合は、テープまたは他のマーキングを使用して、生徒間の距離を置くことを促す。_____
 - カフェテリアで食事をする場合、どの時点においても食堂内のグループの数を常時減らすために食事時間をずらす。_____
 - カフェテリアで食事をする場合、テーブルや椅子の間のスペースを拡大して、食事中に生徒が距離を保てるようにする。距離を置くことが不可能な場合は、代わりにテーブル又は椅子の間に仕切りを使用する。_____

感染管理の最適化対策 (施設に該当するものを全て選択)

- 生徒や訪問者と同様に、職員も職場に入る前に**職員のスクリーニング検査**を行うことが推奨される。入場時のスクリーニング検査には咳、息切れ、発熱、悪寒などの症状や、その職員が現在隔離や待機の命令を受けているかいないかの確認を含む。これらの検査は個人の到着時に直接行うことや、デジタルアプリなどを使い、到着前に遠隔で行うことができる。
- 来校時のスクリーニング検査で陽性と判定された、または在校中のいずれかの時点で症状を報告した生徒、スタッフ、及び訪問者は、COVID-19コンプライアンスチームに報告する必要がある。COVID-19コンプライアンスチームは、教育機関に於ける**症状及び感染症スクリーニング経路**に関する公衆衛生局のガイダンスに従って、個人を施設から帰宅させる必要があるかどうかを判断する。陽性と判定された生徒には推奨される品質のマスクをすでに着用している場合を除き、医療用マスクを提供し、事前に確保しておいた隔離スペースに移動させ、帰宅させるかどうかの決定を行い、帰宅させる場合は帰宅の手配が整うまでその場所で待機させる。
- 成人及び、中・高等学校生の入場前スクリーニング検査には、過去10日間に家庭や学校、その他の場所などでCOVID-19の陽性者との濃厚接触の有無に関する質問を含む必要がある。最近の感染者との接触でスクリーニング検査を受け、感染者との濃厚接触を報告した人は、**付録 T2: 幼稚園・小中高等学校における感染管理計画**に記載されている指示事項に従って管理を行う。

- 学校は、感染者との接触の有無が不明な無症状の個人を定期的に検査するための戦略を検討しても良い。カリフォルニア州公衆衛生局（CDPH）は、現時点では無症状者向け検査に関する特定の頻度や手順を要求していない。しかし、ロサンゼルス郡がCDC指定の感染拡大レベル「高」とする時など、市中感染が広がり、入院患者が増加している時期は、ワクチン接種の有無に関わらず、全ての生徒と職員を対象に定期的に検査を行うことにより、多くの陽性症例が出るのが予想され、検査が行われない場合はそのような感染者も発見されないまま、学校環境でさらに感染が拡大してしまう恐れがある。ロサンゼルス郡公衆衛生局は学校での検査能力を援助するための情報を提供している。検査に関する情報への質問などはACDCEducation@ph.lacounty.govに送信すること。
 - 過去90日以内に検査機関でCOVID-19感染者と確認された後に回復した人や、無症状の人にはスクリーニング検査は推奨されていない。

 - 現行の衛生担当官命令に応じて、学校の施設や交通手段（スクールバス、校舎、校庭）に入る者は、他者（学生、保護者、その他の職員）と接触する場合、学校または学区が人々へより高レベルの安全性を提供するためにより厳しいマスク着用の方針の実施を選択していない限り、マスクの着用は個人の選択に委ねることが許可された。重症化リスクの高い人には高性能マスクの着用が次のような状況で引き続き強く推奨されている。
 - 換気の悪い密閉空間
 - 人で混雑している場所、および
 - 特に人が至近距離で会話を（または激しく呼吸）するような濃厚接触する状況
 - 周囲に誰もおらず、スクールナース（保健室の先生）や他の職員が一人で仕事をしている場合を除き、保健室や衛生室ではマスクを着用することがK-12教育機関に対するCDCの運営ガイダンスに沿い、推奨されている。
- 本プロトコルでは、学校側がマスクを着用することを選んだ一般の生徒に対してアップグレードされたマスクを提供することを義務付けてはいない。しかし、学校にいる間に発症の可能性のある生徒のためにマスクを準備しておくことは校内の安全を確保するために推奨される。
- 最新のロサンゼルス郡公衆衛生局のガイダンスやマスクに関する情報は[COVID-19 マスク](#)を参照。
 - 教育上の配慮: 衛生担当官命令で屋内でのユニバーサルマスク着用が義務付けられている機関、またはマスクの着用が義務付けられていない期間、自主的にマスクの着用を希望する職員のために、音韻指導の妨げになる可能性を懸念する教員や、その他の職員は、唇や口が見えるように透明な部分があるマスクで代用することを検討する必要がある。また、これらの特定の活動においては、フェイスカバーの代わりに、下部にドレープのあるフェイスシールドを代用することも検討できる。
- マスクの着用は依然として校舎内での感染リスクを軽減するのに効果的であるため、スタッフ、生徒、及び訪問者が屋内で濾過効果の高い、しっかりとフィットするマスクを自主的に着用することが適切である。
 - マスクは新型コロナウイルス感染症や、その他の呼吸器疾患の予防に効果があることおよび、着用を希望する人のために適切なマスクの使用法を示す標識を学校の入口、学校のオフィスの入口、及び校舎全体に、引き続き掲示することが推奨される。

- 子供が継続してマスクを着用することを希望する、年少の生徒の保護者は、子供が着用しているフェイスマスクが汚れた場合に備えて、毎日学校にもう一枚フェイスマスクを持参させることが推奨される。これにより、日中フェイスマスクを取り換えることができる。
- 校内全体のスペース、表面、及び物体の適切な洗浄と消毒を促すための対策を準備することが推奨される。これには以下のようなことが含まれる（該当するものすべて選択）。
 - バスはCOVID-19の症状を示している個人を搬送した後、毎日徹底的に清掃及び消毒する。運転手には、運転中に必要に応じて表面の消毒を支援するために、除菌用ウェットティッシュと使い捨て手袋が提供されている。
 - 新型コロナウイルスに対して有効な洗浄製品（環境保護庁（EPA）承認リスト「N」に記載されている）は、製品の指示に従って使用する。EPA承認の消毒剤が利用できない場合は、代替の消毒剤を使用する（例えば、1/3カップの漂白剤と1ガロンの水の混合液または70%アルコール溶液）。呼吸が非常に危険になる可能性のある有毒ガスが発生するため、漂白剤やその他の洗浄及び消毒製品を混合しないこと。
 - 校内の表面と物の清掃・消毒を担当する用務員及びその他のスタッフは、製造元の指示事項、及び該当する場合は学校保健法により求められているCal / OSHAの安全使用のための要件に関するトレーニングを受けている。
 - 清掃・消毒を担当する用務員及びその他のスタッフは、製品の使用に必要な手袋、眼や呼吸の保護及びその他の適切な保護具を含む適切な個人用保護具(PPE)を装備している。
 - 全ての掃除用洗剤は子供の手の届かない、立ち入りが制限されたスペースに保管されている。
 - 清掃及び消毒中は、可能な限り最大限に換気を行う。エアコンを使用している場合は、新鮮な空気を取り込む設定を使用する。エアフィルターとろ過システムを交換して、最適な空気品質を確保する。
 - トイレ、ロビー、休憩室、ラウンジ、その他の公共エリアは以下の頻度で清掃される。定期的清掃は運営時間中、少なくとも1日1回、又はそれ以上の頻度で行われることが推奨されている。
 - トイレ: _____
 - ロビー/入口エリア: _____
 - 教員/スタッフ休憩室: _____
 - 教室: _____
 - カフェテリアの飲食エリア: _____
 - カフェテリアの調理場: _____
 - フロントオフィス: _____
 - その他のオフィス: _____
 - その他のエリア: _____
- スタッフ、生徒、及び訪問者が頻繁な手洗いを促す対策を行うことが推奨される。これには以下が含まれる（該当するものすべてを選択）：
 - 生徒とスタッフは、石鹼で20秒間手をよくこすって洗い、ペーパータオル（または使い捨ての布タオル）を使用して手を完全に乾かす機会が頻繁に与えられている。
 - 低学年の生徒には、食事の前後、トイレの後、野外遊びの後、グループ活動の前後など、こ

まめな手洗い休憩を定期的に予定に組み込む。_____

- 洗面台やポータブルな手洗いステーション（教室内またはその付近、サポートサービスが提供されている部屋、音楽室、美術室など）がない校内全体の要所で生徒とスタッフがエチルアルコールベース（エタノール60%以上）の手指アルコール消毒剤を利用できるようにする。学校環境ではエチルアルコールベースの手指アルコール消毒剤の使用が優先される。イソプロピルアルコールを主な主成分とする手指消毒剤は刺激性が高く、皮膚から吸収されるため学校では使用しない。_____
- 手指アルコール消毒剤を誤飲すると、アルコール中毒を引き起こす可能性がある。手指消毒剤には自由にアクセスできるのではなく、9歳未満の子供は大人の監視下で使用する必要がある。教職員は誤飲のリスクを認識しており、生徒による手指消毒剤の誤飲を確信する理由がある場合は、中毒事故管理センター1-800-222-1222まで連絡する。_____
- 手指消毒剤、石鹸と水、ティッシュとゴミ箱は、施設の入り口付近、受付、及び職場内のその他の場所、または人々が直接交流する建物のすぐ外で公衆が利用できるように配備する。

□ すべての職員はCOVID-19に対して効果的な手指消毒液を以下の場所で利用できるようにすることが推奨されている。（該当するものをすべて選択）：

- 建物の出入り口 _____
- メインオフィス _____
- 階段の入り口 _____
- エレベーターの入り口(該当する場合) _____
- 教室 _____
- 教員休憩室 _____
- 教員室: _____

学校スポーツおよび舞台芸術に関する特別な検討事項

□ **一般的な検討事項**：コンタクトスポーツ、合唱、管楽器の演奏、演劇のリハーサルや本番でのダンスや発声練習など、呼吸数が増加する、または息切れするような身体運動やその他の活動は特に屋内でウイルス感染のリスクを高める。現在、そのような活動でのマスクの着用は、衛生担当官命令に沿って個人の自由とされている。しかし、教育機関、舞台芸術、クラブ、青少年スポーツクラブおよびリーグは、上記の高リスクな活動において、より慎重なアプローチを取ることや、より厳格なマスク着用および検査方針を導入することが自由にできる。また、クラスでの集団感染発生件数の早期警戒指標で危険度が高いと検知された場合、高リスクな活動において、マスクの着用が強く推奨されることが示されているロサンゼルス郡の新型コロナウイルス感染症対応計画を参考にすること。

□ **学校スポーツ**

- 学校スポーツやクラブを含む、すべての組織化された青少年スポーツは新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを軽減するために[付録S：組織化された青少年スポーツプロトコル](#)を見直し、その規制に従わなければならない。次に具体的な推奨事項を挙げるが付録Sを代替するものではない。
- 屋外スポーツでも、チームバスでの移動やウェイトトレーニング、ロッカールームの共有、試合の映画鑑賞など、屋内で起こる高リスクな交流がある。スポーツプログラムはこのよう

な状況でのマスクの着用、ワクチン接種の義務化、定期的な検査、ウェイトルームやロッカールームを同時に使用する参加者数の制限、可能な限り屋外に移動して活動することなど、さらなる安全対策の適切性を検討する必要がある。

- 青少年スポーツ活動を屋内で行う場合は、建物の暖房、換気、及び空調(HVAC)システムが正常に機能していることを確認する。体育館の換気は床置き型扇風機を戦略的に配置することで改善される。図解は[体育館の換気の方法](#)を参照。

□ 音楽クラス

- 特に屋内において、グループで管楽器の演奏や歌唱する場合、学校側は追加の安全対策を講じるべきかどうかを検討してもよい。いくつかの提案事項は以下の通り：
 - 管楽器を演奏する人は、楽器を演奏している時にマウスピースを咥えられるように工夫されたマスクを適切に着用することができる。生徒が練習や演奏をしていない時は、顔全体を覆うものに付け替えることができる。
 - 管楽器を演奏する時は、その楽器のベルカバーを使用することが推奨される。
 - 管楽器演奏者とその他全ての参加者の間に（最低3フィート推奨）の物理的距離を保つことを検討する。
 - 特にマスク着用、ベルカバーの使用、物理的距離を保つことを実行していない場合は、屋内でのグループでの練習や演奏に参加する全ての人に、少なくとも毎週1回PCR検査か抗原検査を学校が定期的に行うことを検討する。

このような活動を可能な限り屋外に移すことで換気の悪い、混雑している屋内でのリスクを大いに低減できる。上記で説明されている工夫されたマスク、ベルカバーや距離を置くことなどの追加の感染予防対策は学校側が希望する注意喚起の程度に応じて講じることができる。

- 合唱など、グループでの音楽活動では、個人間の距離を増やし、可能な限り屋外でこれらの活動を行うことを検討する。その他の検討事項に屋内でマスクを着用せずに推奨される物理的距離を保てない状態で歌手が歌う場合、グループ内の全てのメンバーが少なくとも週1回定期的に検査を受けることがある。
- 可能であれば、使い捨ての吸収パッドまたは他の用品を使用して、スピットバルブまたはウォーターキーの内容物を回収する。使用後は廃棄または適切に清掃する。

□ 演劇クラス

- 参加者がマスクを着けずに発声練習をしている場合（例：演劇ワークショップの参加者）は参加者間の物理的距離を拡大することを検討する。
- 屋内での練習中やリハーサル中にマスクを着用せず物理的距離が保てない場合、少なくとも週1回定期的な検査を行うことを検討する。
- 可能な限り、屋内ではなく、バーチャル方式または屋外でリハーサルとパフォーマンスを行うことを検討する。

□ ダンスクラス

- 激しい運動により、大量の飛沫が放出されるような動きをしている際には、個人間の距離の

拡大、および/または、そのような活動は屋外に移動して行うことを検討する。

- 屋内での活動中にマスクを着用せず物理的距離が保てない場合、少なくとも週1回定期的に検査を行うことを検討する。

□ 音楽の録音

- 比較的狭い限られた屋内空間に大量の飛沫が放出されるため、特に歌手がマスクを着用していない場合、歌手とサウンドブースまたはレコーディングブース内の全ての人との距離を拡大することを検討する。
- 他者と一緒にサウンドブース内で管楽器を演奏している場合、安全性を改善し、リスクを軽減する方法の提案事項については、上記の音楽クラスを参照のこと。
- 管楽器以外のグループの楽器の演奏も、サウンドブースを使用して録音できる。ただし、その他すべての屋内スペースにおいては、特にマスクを着用していない場合、可能な限りすべて演奏者間で常に最低3フィートの物理的距離を維持することを検討する。
- マスクを着用せず物理的距離が保てない場合、レコーディングブースを共有するグループの全てのメンバーが少なくとも週1回定期的に検査を行うことが強く推奨される。
- ブースを別の演奏者または演奏者のグループが使用する前に、十分に換気して（空気清浄機の使用を検討する）、完全な空気の入れ替えを促進し、共有する機器（マイクなど）を消毒する。

□ パフォーマンス

- パフォーマンスも、COVID-19の拡散のリスクを減少するため、[小規模なイベント用最善な方法ガイダンス](#)に従う必要がある。パフォーマンスやイベントがメガイベント（屋内の会場で1,000人以上の参加者、または屋外の会場で10,000人以上の参加者が集まるものと定義される）の場合、[メガイベントのガイド](#)に従う必要がある。
- 全てのTK-12学校主催のパフォーマンスは、特に屋内でのパフォーマンス中にマスクが着用されない場合、追加の安全対策を講じることを検討する。出演者と濃厚接触するステージクルーや出演者全員が、プロダクションの初顔合わせの72時間前から公演日程の最終日まで、少なくとも週1回定期的に検査を受けることを検討する。

学校内のコミュニティ、および一般市民とコミュニケーションを図るための対策

- 学校の方針に関する情報が学校の始業前に保護者と生徒に送付されている（該当するものをすべて選択）：

- 症状がある、もしくはCOVID-19に曝された可能性のある生徒に適用される隔離及び待機の方針 _____
- 生徒またはその家族が発症している、またはCOVID-19感染者と接触のあった場合のCOVID-19検査のオプション _____
- 生徒に症状がある、または感染した可能性がある場合の学校での連絡先:

- 生徒が自宅を出る前に症状の検査を行う方法 _____
- 新型コロナウイルスやその他の呼吸器感染症の感染リスクを減少させるマスクの効果および、

すべての人が干渉や差別の脅威を受けることなく、個人の自由にマスクを着用する権利。

- いかなる物理的距離と感染防止ポリシーに対する生徒が遵守することの重要性 _____
- リスクを回避するための学業及び課外プログラムの変更 _____
- 保護者の学校訪問に関する学校の方針と学校に遠隔で連絡することの推奨 _____
- 複数の保護者の連絡先オプションを含む最新の緊急連絡先情報を学校に提供することの重要性 _____
- その他: _____

重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- 特別なニーズを持つ生徒の個別教育計画（IEP）及び504プランが更新され、生徒に過度のリスクを与えることなく教育を継続できるようになっている。
 - この計画には新学期の初めに保護者と積極的に連絡を取り、生徒の教育と安全に関連する問題に確実に対処する方法が含まれる。
 - 個々のIEPと504プランの変更には、遠隔学習、生徒数の少ない分離されたエリアでの学校への出席、または対面学習と遠隔学習を組み合わせたハイブリッドアプローチが含まれている。
 - IEPや504計画を変更するために講じた措置とは、生徒の安全を確保するために、州法及び連邦法の関連規定に準拠していることを保証する。
- 遠隔で提供できる総務サービスまたは運営（クラスの登録、フォームの送信など）はオンラインに移行する。

企業は 上記に含まれていない追加対策について別紙に記載し本文書に添付してください。

本プロトコルに関するご質問やご意見は、以下のものまでご連絡ください。

担当者名: _____

電話番号: _____

最終更新日: _____